63 期生

２年生学年だより

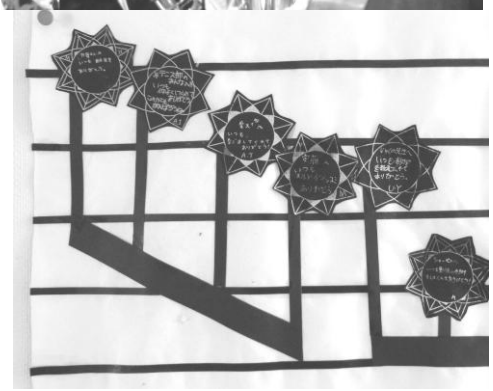
豊中市立第五中学校　2015 年９月１日(火)　No.14

8 月 27 日(木) 文化と平和ＤＡＹ

文化と平和ＤＡＹは、「人権」「平和」「文化」について真剣に考える取り組みです。文化クラブの発表と、能登宏之さんのご講演があり、第一部として、吹奏楽部、美術部、もちっこ部、放送部のみなさんが仲間と共に作り上げた自分たちの活動の成果を発表してくれました。

吹奏楽部

美術部



もちっこ部
放送部

第二部として能登宏之さんの講演がありました。戦争中にどのような事が起こり、みなさんと同じ年の子たちは実際にどのような生活を送っていたのか、日本、そして豊中で何が起こっていたのかということを、実物の資料やスライドを使って詳しくお話していただきました。

「軍隊手帳」「教育勅語（ちょくご）」「赤紙（あかがみ）：臨時召集令状（りんじしょうしゅうれいじょう）」「千人針（せんにんばり）」などあまり聞きなれない言葉だったかもしれませんが、こうした言葉が実際に使われる生活がどういったものだったのか、お話を聞くことでみなさんも想像できたのではないでしょうか。家族は別々に暮らし、男性は兵隊として戦場に。「行かないで、死なないで。」とは絶対に言えず、「戦って良い成果を出してください。出征万歳。」と言って送り出さなくてはならなかった当時の人たち、“死戦をこえて苦戦に勝つ”という願いをこめた千人針を持って戦地に向かった人たち。何も情報を与えてもらえないままある日突然大きな飛行機から爆弾が落ちてくる…戦時中はそんな生活を送らなくてはならなかったと語ってくださいました。最後、能勢さんの言葉に「戦争中の学校は生活すべてが軍事一色、己を殺して国に仕えよ、といわれた。絶対に戦争はしたらあかん。自分を大切にし、正しい情報を知り、そして無関心にならないでほしい。過去に学んで新しい日本を作ってほしい。」というものがありました。みなさんはこれまでにも、そしてこの夏休みにも戦争について学習する機会があったと思います。代表で前に出て発表してくれた人もいました。今回学習したことはみなさんにとっての「知る」に積み重なっていますので、忘れず、今後も関心を持ち続けて学習してほしいと思います。